

第2回つくば3Eフォーラム

つくばの新たな挑戦

～知と技術を集積し、低炭素で安全安心の環境・教育国際
モデル都市を目指して～

つくば市長 市原 健一



City of Tsukuba

平成20年5月31日

1. つくばの特徴

研究学園都市
日本トップレベルの大学
・ 研究機関が集積



TX沿線地区
大規模開発が進展



開発前の筑波研究学園都市

あらゆる取り組みに対応
可能な最適な環境

温暖化対策への取り組み
が最も重要



2. 低炭素社会に向けた世界の潮流

1970年代頃から環境問題が話題となっていたが...

大きな契機

1992年 “地球サミット” 環境と開発に関する国際連合会議
環境と開発に関するリオ宣言 「持続可能な開発」

→ 環境問題, **地球温暖化の問題**への対策が重要視されてきている。



全国地球温暖化防止活動推進センターホームページより (<http://www.jccca.org/>)



3. 低炭素社会に向けた日本の潮流



全国地球温暖化防止活動推進センターホームページより (<http://www.jccca.org/>)

1997年 気候変動枠組み条約締約国会議
「京都議定書」を議決

日本は2012年までに
1990年比6%削減

2008年に第一約束期間が始まるが、1990年から6.2%増加

今後ポスト京都議定書が焦点

7月に洞爺湖サミットが開催



日本が世界の主導性を発揮



4. つくばの役割

国際的な地球環境対策への高まりを受け

研究学園都市つくばの新たな役割

大学・研究機関の横断的連携による高度な技術的対応

特に環境問題

これまでも

環境共生のまちづくりを進める

緑被率30%確保 民有緑地の確保
雨水貯留の実施 緑住農一体型住宅の導入

新エネルギー特区の認定
小型風力発電機の導入

つくば

トップレベルの大学・研究機関が集積
環境意識が高い市民が多い

つくばが日本を先導するチャンス



5. 環境都市づくりに向けた経緯

日本を先導するにあたり

**大学・研究機関の横断的連携や
市民, 企業, 大学・研究機関, 行政の連携の基盤 が重要**

市内のNPO, ボランティア団体が活発な環境活動を展開

昨年12月 第1回つくば3Eフォーラムが開催

【2030年における二酸化炭素排出50%削減】を提言

環境モデル都市へ立候補
環境都市づくりを進める



6. 環境都市づくりに向けたコンセプト

『つくば環境スタイル』

～知と創意で低炭素社会を実証
する田園都市つくば～

知を集積
して統合

大学・研究機関が有する

新たな技術の開発・実験

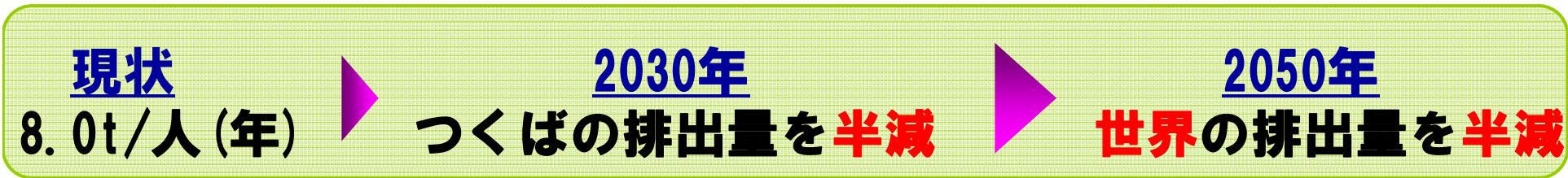
市民，企業，大学・研究機関，
行政の協働実践体制

『つくば環境スタイル』

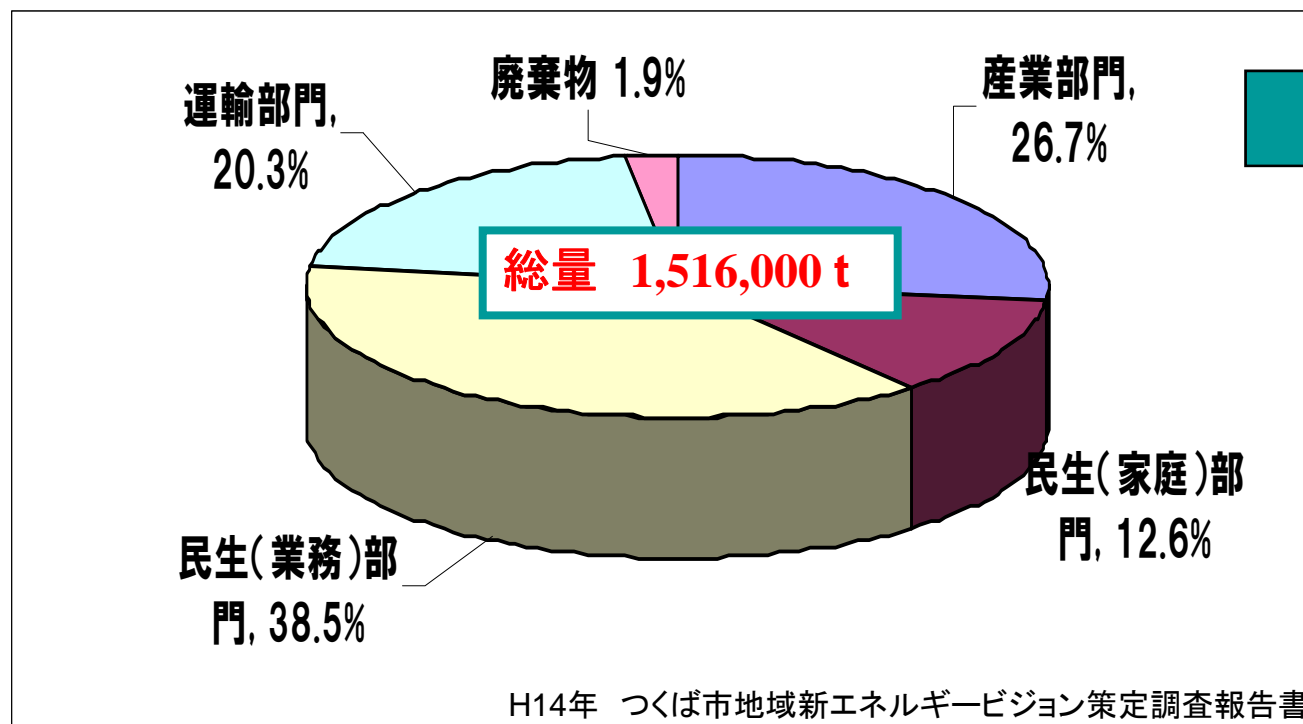
国内・世界に発信
二酸化炭素を大幅削減



7. 削減目標と現状



○ つくばの二酸化炭素排出割合 (2002年の推計値)



1人当たりの排出量
約8.0t/年

8.0tと言うと...

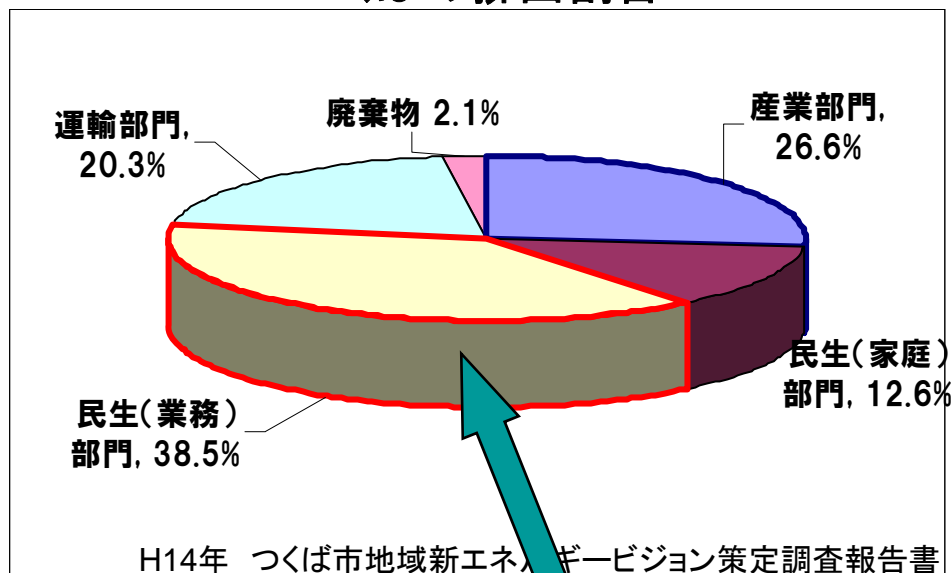


1人1年間で
約40,000km
走行するのと同じ

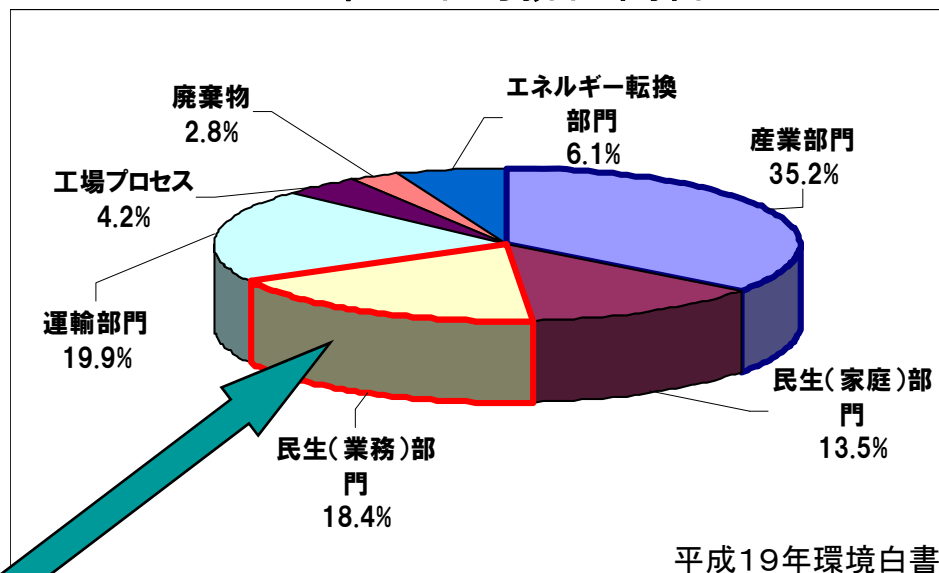
7. 削減目標と現状

○ つくばと日本の比較

つくばの排出割合



日本の平均排出割合



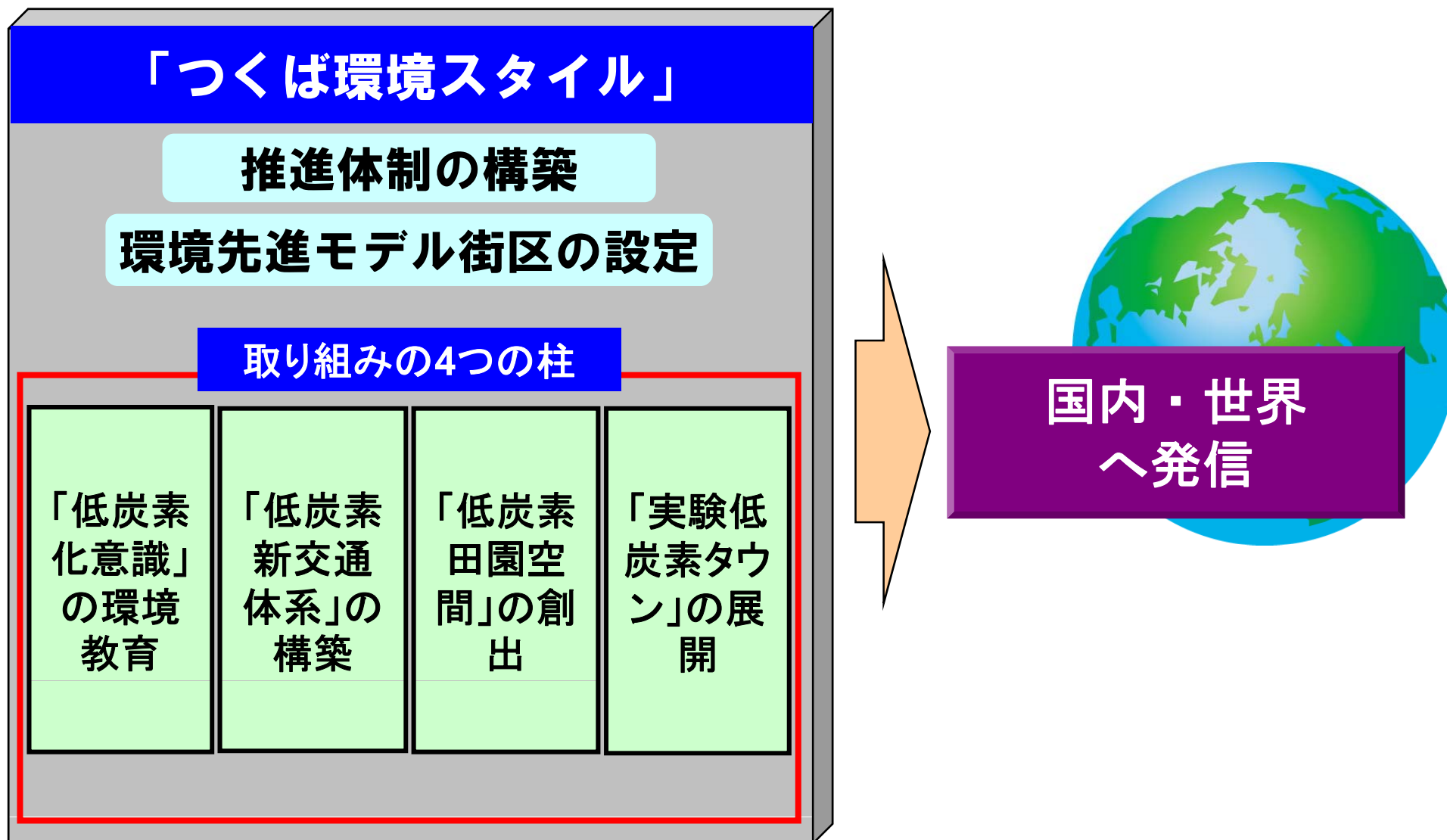
つくば → 民生(業務用)が多い

大学・研究機関が集積しているため排出量が多い

知を多く有している大学・研究機関と連携し削減すると同時に
大学・研究機関が自ら二酸化炭素を削減することも重要



8. 環境都市つくばの取り組みの柱



9. 未来のつくばのために

モデル街区取り組み例

- 住宅モデル街区の設定による「実験低炭素タウン」の展開
- つくば市新庁舎 -先進的エコ庁舎-
- 自転車・バス利用誘導等
- 身近な水と緑のまちづくり -源流の森-
- 商業施設の太陽光、風力発電の導入等
- 環境に関する教育 - (仮称)春日小中学校-
- 身近な水と緑のまちづくり -蓮沼川流域-

◆県、大学・研究機関、市民、行政、事業者が協力し Plan (計画)、Do (実行)、Check (点検)、Act (改善)

田園空間モデル街区

緑住農一体住宅の実験・普及

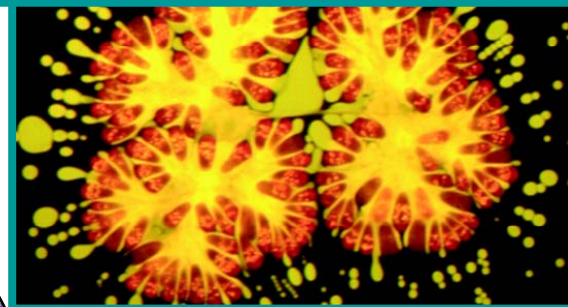
モデル街区実験イメージ

電気自動車 カーシェアリング



全国地球温暖化防止活動推進センターホームページより

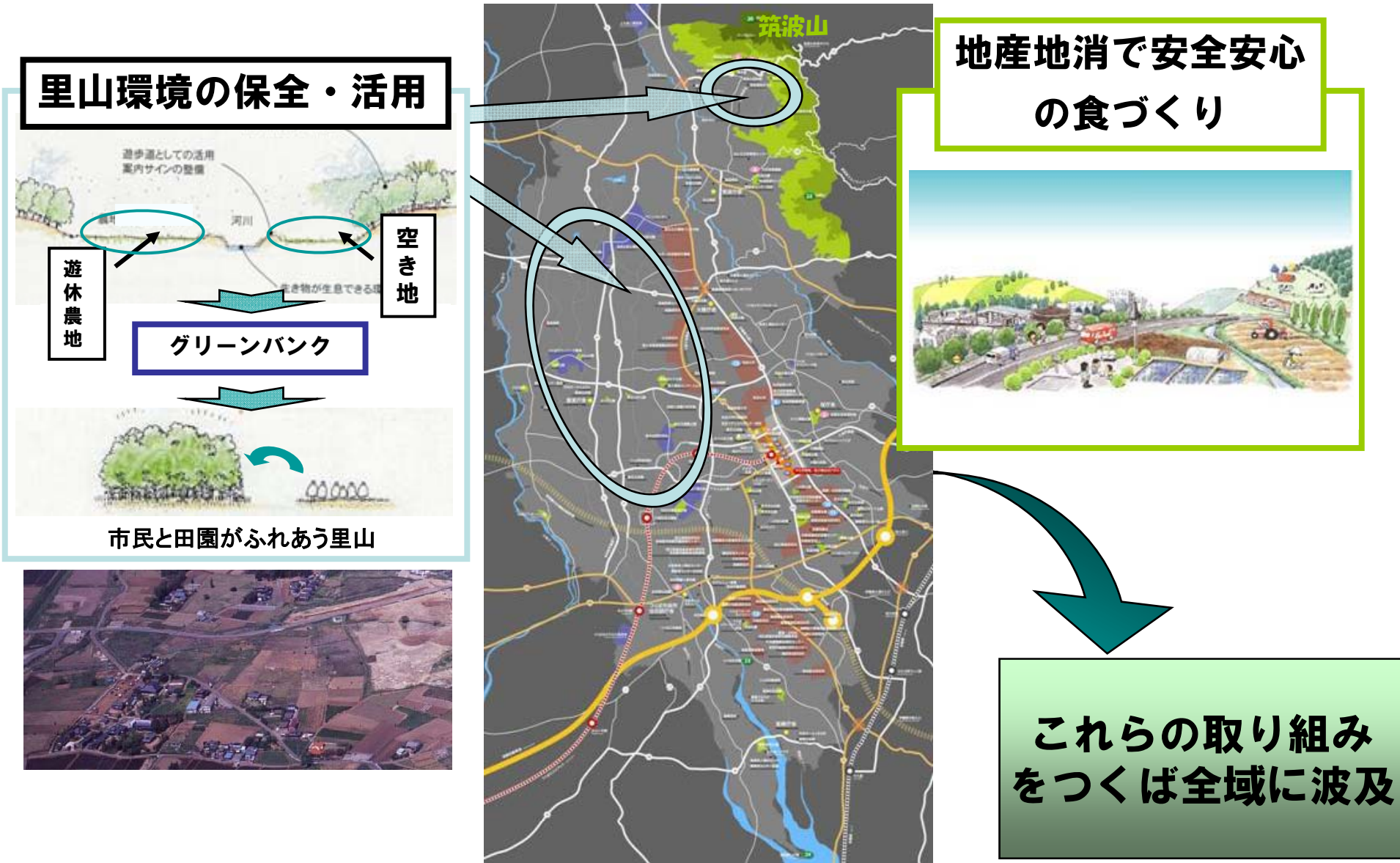
藻類バイオマスの実用化



自転車中心の街づくり



9. 未来のつくばのために



10. つくば環境スタイル ～教育～

その中でも特に教育が取り組みのカギ

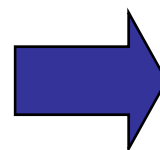


低炭素化意識
の環境教育



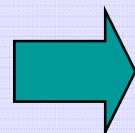
未来の低炭素社会を担う人材育成
低炭素ライフスタイルに向けた啓発

トップレベルの大学・研究機関が集積



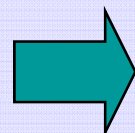
環境エキスパートによる
教育が可能

学校に大学・研究機関等の環境
エキスパートを派遣



将来を担うこどもに環境問題の
大切さを教える

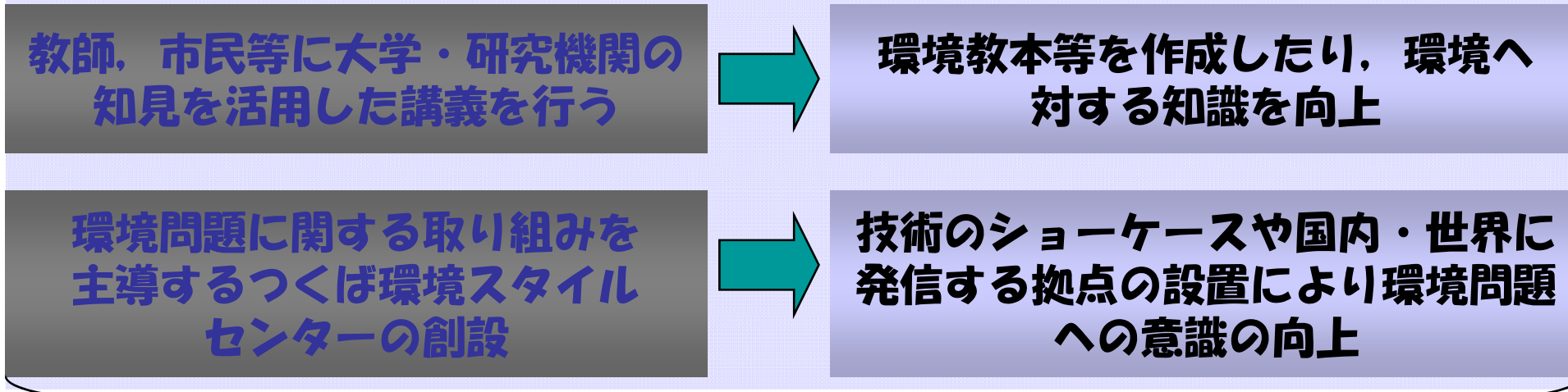
学校で二酸化炭素削減の具体的な
行動を考える (つくばIEC運動)



家庭でも実施し環境への意識を
高めていく



10. つくば環境スタイル ～教育～



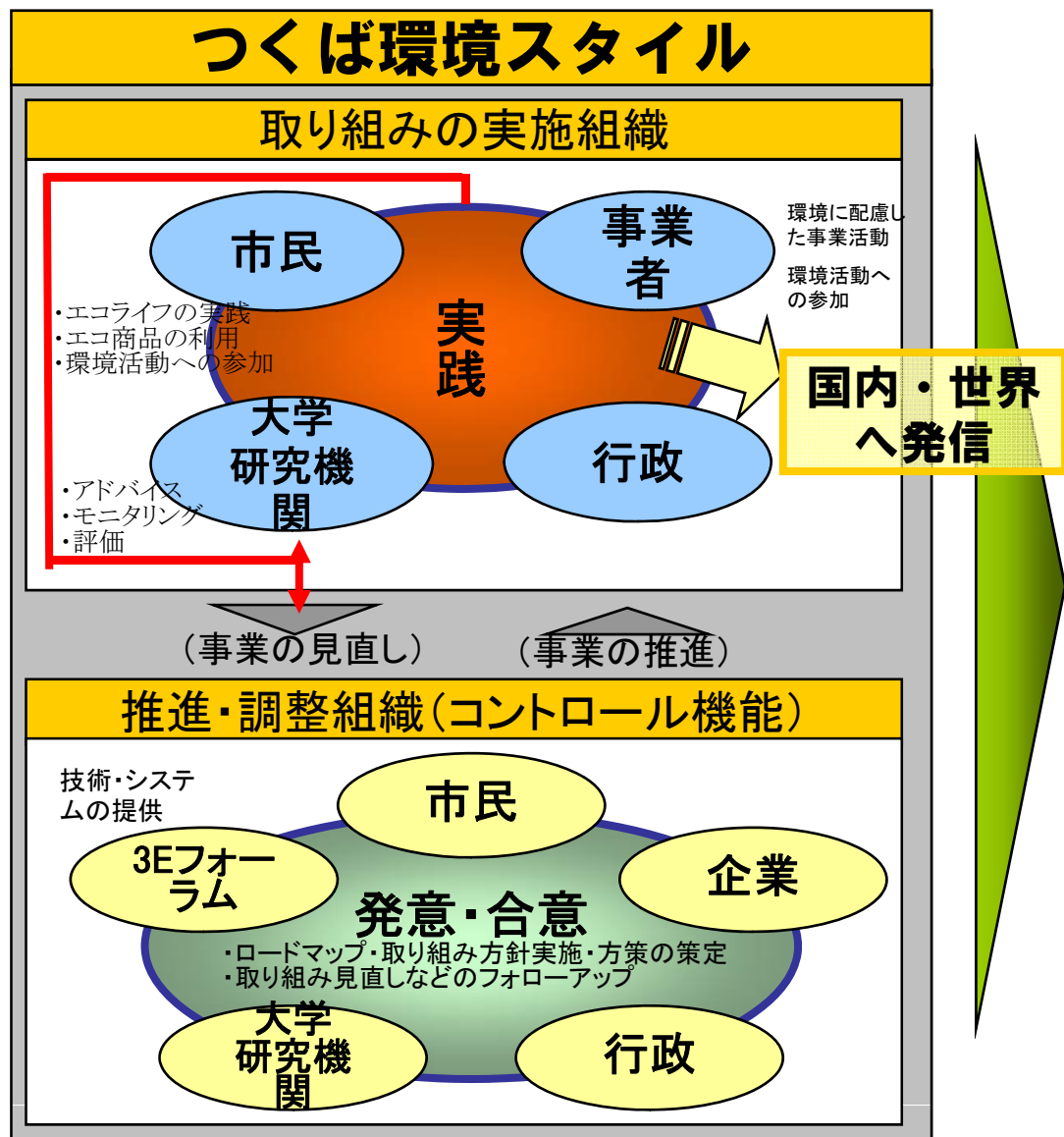
環境教育を充実

小・中学校教育充実させると



⇒ **日本の二酸化炭素削減に大幅に寄与**

11. 連携強化によるつくばの発展



つくばの更なる発展

- ・ 連携によるイノベーションの創出
- ・ 新たなビジネスモデルの構築による地域経済の活性化
- ・ 新たな市民生活の創出
- ・ 連携強化による地域総合力の向上
- ・ つくばブランド力の向上



12. 未来に挑戦し続ける「つくば」

**最先端の技術を持つ大学・研究機関の横断的連携
高い意識を持つ市民の連携**



**つくばが国内・世界の未来を先導
「世界のつくば」へ常に挑戦**

